



インターネットでの情報提供	
提供予定日	2月13日

平成27年2月12日(木) 県政記者クラブ、高山記者クラブ配布資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
畜産研究所	飛騨牛研究部	高原・丸山	0577-68-2226

しゅゆうぎゅう はなきよかつ
**新規種雄牛「花清勝」号が県内歴代最高の
 脂肪交雑の成績を収めました**

岐阜県畜産研究所では、和牛の種雄牛^{※1}を飼育し、凍結精液を県内農家に供給することで、「飛騨牛」の肉質の改良に努めています。

このたび、新規種雄牛「花清勝」号の能力検定が終了し、霜降り具合をあらわす脂肪交雑^{※2}の成績が、これまで県内の歴代最高であった「花清国（はなきよくに）」号を上回り最高の能力を持つと評価されました。

今後、「花清勝」号は、飛騨牛の改良及び飛騨牛ブランドの更なる発展を支える種雄牛として、活躍が大いに期待されます。

1. 「花清勝」号の検定結果

「花清勝」号の脂肪交雑の成績（4.25）が「花清国」号（4.11）を上回りました。

検定種雄牛	頭数	検定成績（期待枝肉成績 ^{※1} ）					
		枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	脂肪交雑
花清勝		kg	cm ²	cm	cm	%	(^{※2})
花清勝		431.9	57.2	8.0	3.1	74.1	4.25
花清国		438.2	59.2	7.9	2.1	75.1	4.11
県内平均 (H18~H26)	30	452.7	57.3	8.1	2.4	74.4	2.90
全国平均 (H17~H26)	701	450.7	55.7	7.6	2.4	74.0	2.30

※1 期待枝肉成績とは、種雄牛自身が肥育されたと仮定して統計的に算出した数値のことです

枝肉重量：牛（生体）から頭、皮、内臓等を取り去った後の重量

ロース芯面積：ロース肉がどれだけ採れるかの指標

バラ厚：肋骨付近の肉（バラ）がどれだけ採れるかの指標

皮下脂肪厚：皮下脂肪がどれだけの厚さで付いているかの指標

歩留基準値^{ふどまり}：生体からどれだけの肉（枝肉）が取れるかをパーセントで表したもの

脂肪交雑：霜降り具合をあらわす基準

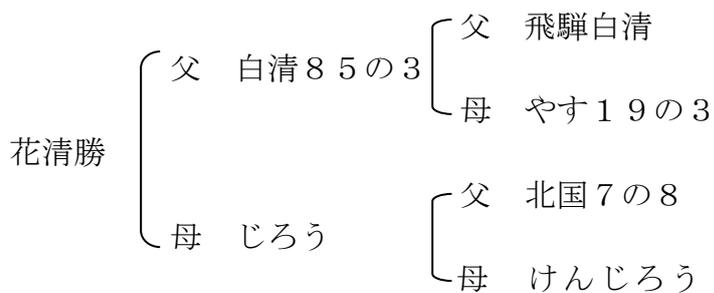
※2 脂肪交雑の基準値：5（霜降りが多い）～0（霜降りが少ない）



「花清勝」号産子（去勢）の枝肉断面写真

2 「花清勝」号のプロフィール

- ・生年月日 平成21年4月2日
- ・所有者 岐阜県畜産研究所
- ・生産者 岐阜県中津川市 はなだ ますみ 花田 増美 氏
- ・血統



「花清勝」号

※1 種雄牛について

種雄牛の造成目的に基づき県内農家で計画的に生産された雄牛の中から選抜し、畜産研究所で発育や体型などの調査を実施。その結果から選抜された雄牛を県内農家が飼育している雌牛に交配し、生産された子供を肥育して肉質の調査を行い、調査成績の優秀な雄牛が「種雄牛」として選抜される。新しい種雄牛が誕生するまでには、約7年の歳月を要すると共に、生産者及び関係機関が一丸となった改良への取り組みが不可欠である。

※2 脂肪交雑について

脂肪交雑とは、「さし」、「霜降り」、「マーブリング」とも呼ばれる牛肉の肉質を評価する指標の一つで、筋肉中の脂肪組織の沈着具合をあらわす基準。脂肪交雑が良好とは、脂肪組織が筋肉全体に不規則な網目状に沈着している状態をいう。和牛肉の脂肪は優れた芳香とうま味を持っており、牛肉の味や食感を一層引き立てることから、脂肪交雑は肉質を評価する上で最も重要視される形質である。